



SBX461/SBX464

取扱説明書



ワーズインク株式会社
<http://www.was-inc.jp/>

～ 目次 ～

安全のための重要事項	3 ～ 4
各部の名称 / シンボルマーク / 内蔵バッテリー充電レベル	4
内蔵リチウムバッテリーへの充電	6
LED ワークライト / 外部機器充電	7
エンジン始動：一般的なジャンプスタート	8
エンジン始動：オーバーライドによるジャンプスタート	9
メンテナンス	10
トラブルシューティング	10
仕様	11
製品保証	12

本取扱説明書は大切に保管してください。本機を正しく安全に使用方法が記載されています。
本機使用前に熟読し、内容をよく理解してください。

輸入発売元 ワズリンク株式会社

〒151-0064 東京都渋谷区上原 1-1-17 TEL03-5738-0510

1. 安全のための重要事項

 **警告** 爆発性ガスが発生する危険があります。

鉛バッテリーは爆発性、引火性のあるガスを発生しています。ここに記載の注意事項に従って適切にご使用ください。

バッテリーの爆発を防止するために以下の注意事項を守るとともに、バッテリーメーカー、車両メーカーの注意事項を確認し、それらを厳守してください。

取扱説明書の注意事項を理解し厳守しない場合、深刻な怪我を負ったり、死にいたることがあります。本機を安全に使用する知識を持った人のみが本機を使用できます。

本機の使用により、火災、電気ショック、車両や所持品に損傷を与える可能性があります。

- 1-1. 子供の手の届かないように保管してください。
- 1-2. 指や手を本体出力口近辺に入れないでください。
- 1-3. 本機を雨、雪、埃、湿気を避けて保管してください。
- 1-4. 本機の2つのクランプを同じものに同時に接触させるとショートする可能性がありますので決して触れないようにしてください。
- 1-5. ジャンプスタート時には車両のギアはパーキングまたはニュートラルにあり、ハンドブレーキが確実に作用していることを確認してください。
- 1-6. 本機やケーブル類に損傷のある場合や衝撃を与えて損傷が危惧される場合は使用しないでください。
- 1-7. ジャンプスタートする際に、車両のすべての電装品、エアコンが停止状態になっていること、車両のキーがOFF位置にあることを確認してください。
- 1-8. 決して本機を分解しないでください。不適切な分解は電気ショックの危険性があります。
- 1-9. 本機は車両バッテリーの代わりに使用することはできません。
- 1-10. ジャンプスタート時に接続する車両バッテリーからできるだけ離して本機を接続し、使用してください。決してバッテリーの上に置いて使用しないでください。
- 1-11. 本機は車両用鉛バッテリーでの使用専用です。それ以外のバッテリーには使用できません。
- 1-12. 損傷している / 凍結している / 短絡状態にあるバッテリーを始動させないでください。
- 1-13. 本機とバッテリーを接続するときは、必ず安全ゴーグルを着用し、顔を近づけないでください。
- 1-14. 指輪、ブレスレット、ネックレス、時計などの金属製のものを身につけて作業をしないでください。万一、ショートした場合、金属が溶解したり、重度の火傷を負う危険があります。

- 1-15 作業中に金属製の道具などをバッテリーの上に落とさないように注意してください。
ショートやスパークを生じ、車両電子機器やバッテリーに致命的な損傷を与える可能性があります。
- 1-16 車両バッテリーの傍で作業する際には万一に備えてもう1名がそばにるようにしてください。
- 1-17 バッテリー液が肌に触れたり、服に付着した場合は、ただちに大量のきれいな水、石鹼、重曹で洗ってください。
- 1-18 安全のためにゴーグルと手袋を着用して作業してください。
- 1-19 バッテリー液が目に入った場合は流水で10分以上洗浄しその後医師の診察を受けてください。
- 1-20 万一、バッテリー液を飲み込んだ場合は、牛乳、卵白、水を飲んで下さい。決して吐き出そうとしないでください。その後ただちに医師の診察を受けてください。
- 1-21 車両の取扱説明書を参照してバッテリーの電圧を決定し、機器の出力電圧が正しいことを確認してください。ジャンピング始動中にボンネットを閉める必要がある場合は、ボンネットがバッテリークランプの金属部分に触れたり、ケーブルの絶縁を切ったりしないようにしてください。
- 1-22 出力ケーブルは、ボンネット、ドア、可動または高温のエンジン部品による損傷のリスクを低減するように配置してください。
- 1-23 シャーシに接続されていないバッテリー端子を最初に接続する必要があります。もう一方の接続は、バッテリーおよび燃料ラインから離れたシャーシに行う必要があります。
- 1-24 本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。万一、火災が発生した場合は、救急隊に連絡して救助を求めてください。



使い方を誤ると、破裂の原因になります。

破裂注意



分解したり、水をかけると、感電の原因になります。

感電注意



発火注意 使い方を誤ると、発火の原因になります。

発火注意



腐食注意。金属を腐食させる可能性。

腐食注意

3. 各部の名称

1. 電源/LEDライトボタン
2. ジャンプスタート準備完了LED
3. ジャンプスタート/オーバーライドボタン
4. 内蔵バッテリー充電インジケーター
5. エラーLED
6. ポートカバー
7. USB-A出力ポート
8. DC12V入力ポート
9. USB-C入力ポート
10. LEDワークライト
11. ワニロクランプ
12. ワニロクランプホルダー
13. USBケーブル
14. DC12Vケーブル



電源 / ライトボタン：

- ボタンを押すと電源が入り、バッテリーの状態が確認できます。
- 2 回押し続けるとライトが点灯または消灯します。

ジャンプスタート / オーバーライドボタン：30 秒間使用しないと、ユニットは自動的にオフになります。緑色の LED は 10 分後に消灯します。

4. シンボルマーク

内部バッテリー 充電レベルLED		白色	点滅		内部バッテリー充電中
エンジンマーク LED		緑色	点灯		通常始動モード準備完了
エンジンマーク LED		緑色	点滅		オーバーライドモード での始動準備完了
エラーLED		赤色	点灯		短絡回路に接続されている
エラーLED		赤色	点灯		ワニロクランプ逆接続

5. 内蔵バッテリー充電レベル

本体前面の電源 / ライトボタンを押します。内蔵バッテリー充電インジケーターは右記のように現在の充電レベルを表示します。

インジケーターが 75% 未満の場合は内蔵バッテリーを充電してください。

	100 %
	75 %
	50 %
	25 %

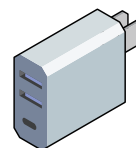
6. 内蔵バッテリーへの充電

以下の場合、本機の内部バッテリーに充電してください。

- ・購入直後。
- ・各使用後。
- ・30日ごと。

6-1.内蔵リチウムバッテリーへの充電（USBケーブル/USBポート）

- 6-1-1. 本機に車両や電気製品が接続されていないことを確認してください。
- 6-1-2. USBケーブルのUCB-C側を本機の「USB-C入力ポート」に差し込みます。
- 6-1-3. 付属のUSBケーブルを右記のようなUSBACアダプター（付属していません）に接続し、または壁面のUSB充電ポートに差し込みます。
- 6-1-4. USBACアダプターを100Vコンセントに、または、USBケーブルをUSBポートに差し込むと、自動的に充電を始めます。
※内蔵バッテリー充電インジケーターが、充電中は点滅、充電が完了すると4つのLEDが点灯に変わります。
- 6-1-5. 充電が完了したら、本体からUSBケーブルを取り外します。
※おおよその満充電までの充電時間(2A USBACアダプター使用時：
SBX461：4～5時間
SBX464：7～8時間



USBACアダプター
(付属していません)
2A以上出力するものを推奨

6-2.内蔵リチウムバッテリーへの充電（車両走行中）

DC12Vケーブル（付属）を使用して、走行中に内蔵バッテリーを充電することもできます。

- 6-2-1. 本機に電気製品が接続されていないこと、接続する車両がすぐに走行することを確認します。
- 6-2-2. DC12Vケーブルを本機のDC12V入力ポートに差し込みます。
- 6-2-3. DC12Vケーブルのもう一方の端を車のシガーソケットアウトレットに差し込みます。
- 6-2-4. 充電は自動的に開始されます。
※内蔵バッテリー充電インジケーターが、充電中は点滅、充電が完了すると4つのLEDが点灯に変わります。
- 6-2-5. 充電が完了したら、本体及び車両からDC12Vケーブルを、取り外します。
※おおよその満充電までの充電時間(2A USBACアダプター使用時：
SBX461：2時間
SBX464：4時間

7.LEDワークライト

- 7-1. ワニロクランプがワニロクランプホルダーにしっかりとクリップされていることを確認します。
- 7-2. 電源/LEDライトボタンを押します。本機の電源が入り、内蔵バッテリーLEDインジケーターが点灯します。
- 7-3. 電源/LEDライトボタンを長押し(0.75秒)するとLEDワークライトが点灯します。電源/LEDライトボタンを押す毎に、以下のような点灯モードに切り替わります。

通常点灯モード → SOS点滅モード → フラッシュストロボモード

- 7-4. 消灯する場合は、電源/LEDライトボタンを長押し(0.75秒)してください。どのモードでも可能です。

※内蔵バッテリーLEDインジケーターが消灯したら、すぐに充電してください。

8.外部機器充電

本機のUSB-A出力ポート(DC5V, 最大2A)を使用して、外部機器への充電が可能です。

- 8-1. ワニロクランプがワニロクランプホルダーにしっかりとクリップされていることを確認します。
- 8-2. 電源/LEDライトボタンを押します。本機の電源が入り、内蔵バッテリーLEDインジケーターが点灯します。
- 8-3. 充電したい外部機器をUSB-A出力ポートに接続します。必要に応じて外部機器の電源を入れます。
- 8-4. 充電を終了する場合は、必要に応じて、外部機器の電源を切り、USB-A出力ポートから抜いてください。

※内蔵バッテリーLEDインジケーターが消灯したら、すぐに充電してください。

9. エンジン始動

9-1.一般的なジャンプスタート

- 対象車両にバッテリーが搭載されていない状態で本機を使用すると、車両の電気システムを損傷する可能性があります。
- 12Vの鉛バッテリーシステムの車両のみに使用できます。

注意:

車両をジャンプスタートさせるには、内蔵バッテリーの充電率が75%以上である必要があります。本機を使用する前に、すべての車両の機器（暖房、照明など）をオフにしてエンジンをスタートしてください。

ワニ口ケーブルは、ファンブレード、ベルト、プーリー、その他の可動部品から離して設置してください。

- 9-1-1. マイナス端子がシャーシに接続／アースされているか確認してください。
赤いワニ口クランプ (+) をバッテリーのプラス端子 (+) に接続し、黒いワニ口クランプ (-) を車両の アース/シャーシ（フレームまたはエンジンブロックに。燃料ラインなどには接続しないでください）。
- 9-1-2. ジャンプスタート/オーバーライドボタンを押して、ジャンプスターターをオンにします。
エンジンマークLEDが緑色に点灯すれば準備完了です。
- 9-1-3. 接続後、30秒待ってから車両を始動させてください。クランキングは最大5秒間可能です。
1度目で始動できない場合は、30秒以上待ってから再試行してください。
- 9-1-4. エンジンが始動したら、ジャンプスタート / オーバーライドボタンを押して本機の電源をオフにし、黒いワニ口クランプ (-)、赤いワニ口クランプ (+) の順番で外します。
- 9-1-5. 本機使用後は、なるべく早く内蔵バッテリーを充電してください。

※本機を使用してエンジンを始動する場合、5秒以上クランキングしないでください。

※本機を使用してエンジンを始動する場合、連続3回までです。始動間隔を30秒以上あけてください。

9-2. オーバーライドモードによるジャンプスタート

当該バッテリーの放電が激しく、車両システムが起動しない（車両のインジケーター表示もされずエンジンスタートができる状態にならない）ハイブリッド車や電子制御車両（例えばスタートボタンでエンジンを始動するような車）では、一般的なジャンプスタート方法ではエンジン始動システムが作動しません。このような場合はオーバーライドモードを使用します。

警告！：安全機能は全てオフになります。ワニロクランプのバッテリーへ逆接続やワニロクランプ同士の接触しないようにする、など取り扱いに十分注意してください。取り扱いを誤るとバッテリーや車両に重大な損傷を与える場合があります。

- 9-2-1. マイナス端子がシャーシに接続／アースされているか確認してください。
赤いワニロクランプ（+）をバッテリーのプラス端子（+）に接続し、黒いワニロクランプ（-）を車両の アース/シャーシ（フレームまたはエンジンブロックに。燃料ラインなどには接続しないでください）。
- 9-2-2. ジャンプスタート/オーバーライドボタンを2回押します、2回目は5秒間長押しします。
エンジンマークLEDが緑色に点滅すれば準備完了です。
※安全機能は全てオフになります。取り扱いに十分注意してください。
- 9-2-3. 接続後、30秒待ってから車両を始動させてください。クランキングは最大5秒間可能です。
1度目で始動できない場合は、30秒以上待ってから再試行してください。
- 9-2-4. エンジンが始動したら、ジャンプスタート / オーバーライドボタンを押して本機の電源をオフにし、黒いワニロクランプ（-）、赤いワニロクランプ（+）の順番で外します。
- 9-2-5. 本機使用後は、なるべく早く内蔵バッテリーを充電してください。

※本機を使用してエンジンを始動する場合、5秒以上クランキングしないでください。

※本機を使用してエンジンを始動する場合、連続3回までです。始動間隔を30秒以上あけてください。

10. メンテナンス

本機を乾いた布でワニロクランプなどに付着した汚れ、油分などを拭き取ってください。
保管前に内蔵バッテリーをフル充電してください。過放電を防ぐために、頻繁に使用しない場合は、少なくとも 30 日に 1 度回充電してください。本気を湿度や湿気から保護するために乾燥した場所で、-10℃～+45℃の温度で保管してください。

11. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	解決方法
本機が作動しない	内蔵バッテリーの電圧が低すぎる	内蔵バッテリーを充電してください。
内蔵バッテリーが充電を維持できない	内蔵バッテリーの不具合	弊社までご返送いただき、点検を受けてください。
ジャンプスタートできない	ワニロクランプがきちんとバッテリーに接続されていない。	接続を確認してください。
	本機の電源が入らない。	本機の電源/オーバーライドボタンを押してください。
	ワニロクランプが逆接続している	正常な接続にしてください。
	内蔵バッテリーが充電されていない。	充電状態を確認し、再充電してください。
	車両のバッテリーが正常に機能していない。	車両のバッテリーを確認してください。

ワーズインク株式会社 〒151-0064 東京都渋谷区上原 1-1-17 TEL.03-5738-0510

12. 仕様

SBX461

品 名	リチウムジャンプスターター 1000A
型 式	SBX461
内蔵バッテリー	4セル リチウムポリマーバッテリー 29.6WH
入力電圧 / 電流	DC12V 1.5A / USB-C入力ポート DC5V 2A
出力電圧 / 電流	12V 1,000A / USB-A出力ポート DC5V 2.4A
始動電流値	500A
ピーク電流値	1,000A
ケーブル長	0.62m
作業温度範囲	-20 ~ 43 °C
対応バッテリー	鉛12V
保証期間	本体：1年間, 内蔵バッテリー：6ヶ月間
サイズ	48 × 210 × 103mm
重量	1.1kg
保護機能	極性反転、短絡、過熱、過充電、過電圧、火花
保護等級	IP64

SBX464

品 名	リチウムジャンプスターター 2500A
型 式	SBX464
内蔵バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 49.58WH
入力電圧 / 電流	DC12V 1.5A / USB-C入力ポート DC5V 2A
出力電圧 / 電流	12V 2500A / USB-A出力ポート DC5V 2.4A
始動最大電流値	2,500A
ピーク電流値	1,250A
ケーブル長	0.62m
作業温度範囲	-20 ~ 43 °C
対応バッテリー	鉛12V
保証期間	本体：1年間, 内蔵バッテリー：6ヶ月間
サイズ	60 × 235 × 105mm
重量	1.25kg
保護機能	極性反転、短絡、過熱、過充電、過電圧、火花
保護等級	IP64

13. 製品保証

日本国内の正規販売店より販売され、購入された製品については、当製品輸入元であるワーズインク株式会社が製品保証を提供しています。

本取扱説明書に従い適切に使用しており、購入後 1 年以内（内蔵バッテリーは 6 ヶ月間）に製品本体に不具合や故障が生じた際には無償で交換修理いたします。保証を受ける際にはお買上時のレシートを添えて弊社またはお買上の販売店にご依頼ください。

弊社が認めるサービススタッフ以外による改造や修理が行われている商品については、本保証は適用されません。また、本製品の不具合により発生した間接的な損害に対する補償は一切行われません。本保証は製品本体のみを補償し、製品の交換以上の補償は一切行われません。

輸入発売元

ワーズインク株式会社 〒151-0064 東京都渋谷区上原 1-1-17 TEL.03-5738-0510 info@was-inc.jp